

## 会議録

会議名 (審議会等名)	相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)	南区役所区政策課 電話042-749-2134 (直通)		
開催日時	令和2年11月18日(水) 14時00分～16時07分		
開催場所	南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	20人(別紙のとおり)	
	その他		
	事務局	6人(南区長、副区長、他4人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 新任委員紹介</li> <li>3 会議の公開について</li> <li>4 区長あいさつ</li> <li>5 議題           <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南区流ファシリテートスキル(案)について</li> <li>(2) 世代間交流促進のための具体的な取組の検討について</li> </ul> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>		

## 審議経過

主な内容は、次のとおり。（◎は会長、○は委員、●は事務局等の発言）

### 1 開会

### 2 新任委員紹介

前回欠席された新任委員から自己紹介

### 3 会議の公開について

傍聴希望者なし

### 4 区長あいさつ

### 5 議題

#### (1) 南区流ファシリテートスキル（案）について

資料に基づき、事務局から説明。

- ・本文の内容に大きな変更はないが、①目次、アイスブレイクの解説やイメージ図の追加、②書体の変更、③箇条書きの追加等を行った。

内容について委員から承認いただき、今後、冊子の製本を行う旨を報告。

#### (2) 世代間交流促進のための具体的な取組の検討について

資料に基づき、事務局から説明。

具体的な取組の検討に先立ち、どのような地域活動が行われているか情報共有した。

○自治会開催の成人教室として、自治会館を使って自由に活動していただいている。講師役は自己申告で、自分が得意なものを教えて仲間づくりをする活動である。やはり人というのは、誰かと接して交流をしたいという気持ちが強いと思う。コロナ禍であるが、対面を完全に避けてはいけないというのが感想である。

○親睦交流の事業として夏祭りや文化祭を行っている。子ども会をはじめ、多くの方々に参加いただき、世代間交流を行っている。防犯活動としては、登下校の見守りや青色パトカーを使用して防犯活動を行っている。また、小学校区ごとに週1回程度学習支援などを行っている。防災訓練は年2回行っているが、参加者が固定化されている状況ではある。

◎夏祭りや文化祭の担い手はどのような年齢層か。

○最近では、若い世代の方も多し。しかし、平均すると50、60代になる。

○相武台地区は、町内会と2つの団地で、お祭りを盛大にやっている。普段は高齢者ばかりのまちの人口が3倍になるぐらいに人が集まる。昨年からは、一番明るいまちにしていこうとイルミネーションを飾り、11月から1月の中旬まで点灯している。南区で一番高齢化が進んでいる地区だが、工夫して一番元気がいいところを見せるために活動している。

○麻溝地区は、ふるさと祭りが一番大きな行事である。有名な方を外から呼ぶのではなく、地域で活動している人たちの発表の場として企画して、楽しみながら地域を知ってもらおうという趣旨で行っている。また、ベトナムの技能研修生から申出があり、ステージでダンスをしていただくなど、交流が図られている。防災については、昨年の台風19号をきっかけに防災意識を高め、避難場所運営などについても検討を進めている。訓練も、無事な世帯は外から見えるところに旗を出していただいて、効率的に安否の確認をするという訓練をして、防災訓練に多くの方に参加いただき、更に自治会の加入促進にも繋がるという取組をした。

◎お祭りやパトロールも担い手の中心は高齢の方になるのか。

○そのとおりである。

○新磯地区は、4月の芝ざくらまつり、5月の相模の大凧まつりなど様々なイベントがある。また、まちづくり会議にはPTA会長、消防団等から若い方に入ってもらっており、今年度の委員構成は25%が若い世代となっている。若い世代にまちづくり会議に入ってもらった目的は、まさに将来の担い手づくりであり、まちづくり会議での経験によって、将来の担い手づくりに結びつけていければという形でスタートしている。

◎まちづくり会議に若い世代に入ってもらったということで、参加しやすいように、曜日や時間帯で何か工夫しているのか。

○19時30分からの開催を基本としている。

○地域活動というと、誰もが自治会がすぐに思い浮かぶ活動だと思う。自治会の方々には、意見を聞くことや、まずはやってみようという冒険、そういったことを受け入れていただける気持ちを持っていただくと、参加する方も増えてくるのかなと感じている。

誰もが安心して意見交換ができるような場づくりや、「居るだけでもいい場所」があると良いが、南区はそういった場所があまりないと感じている。自治会活動などはエネルギーがある人ができるが、最近では、そうでない方が増えており、どう手を差し伸べていいのかという

悩みも出ている。そういった方は、決して人を拒絶しているわけではないが、引きずり出されることにプレッシャーやストレスを感じているので、その気持ちを酌み取りながら、安心して居られる場が南区にできるといいと思う。

○自治会の掲示板に、登下校を見守るボランティアの張り紙があり、興味が沸いたが、知らない人たちの中に入って活動する自分がイメージできず、やってみたいという段階で止まった。何かやる時に、知らない人たちの中に入っていくことは年齢を問わず億劫になるが、顔を知っている人がいると分かると、参加しやすくなるのではないかと思う。地域活動などに参加していない人は、自分の意見を言うことが苦手な人が多く、大事と思いながらも進んではやらない人が多いと感じるので、個々の力を発揮できるよう具体的なポイントでお願いをして、その人に合った巻き込み方を考えられると良いと思う。先程のイルミネーションの話で、具体的にこういうまちにしたいという取組があると、イメージが湧きやすくなると思った。

◎若プロの人でも、知らない人がいるから億劫になってしまう点は興味深い。また、具体的なポイントでお願いするというのは、まさに第5期で検討していたスポット参加だと思っており、うまくいく鍵は、顔がつながっている関係であると思った。

○子育て支援をテーマに学生を地域に連れて行き、NPOの方々の話を聞いたり、親世代の話や子育てについて考えながら、それをサポートする活動をしている。そのときに伺った話を紹介すると、まず、母親が求めていることは、子どもや自分のためになることや仲間づくりである。父親は、基本的に男性は孤立しているので、仕事では仲間がいても、他世代の方と仕事抜きで話し合う機会がないため、そうした試みは非常に好評のようである。引き出したい世代が何を求めているのかというのを探し、それをうまく合致させていくというのが、世代間交流促進のためには重要だと思う。先程話があったが、学生側は、やはり自分がそこにいるイメージが湧かないと、何をしているのか分からない、そこに仲間がいないというようなことが阻害要因になっていると思う。

○女子美としては、南区と連携し場を作っていたでいるので、地域活動に参加しやすい状況である。やはり、目的がはっきりしていると学生も参加しやすいと思う。また、先程話があった「居るだけでもいい場所」が重要である。学生の課題にまちづくりや地域コミュニティーをテーマにすると、公民館の一室などに立ち寄れる場所が欲しいという提案が増えてきている。立ち寄れる場所が一つのきっかけとなり、交流の場になっていくと思っている。

◎居場所づくりは大事であり、コミュニティーにも繋がると思う。

○若い方にどのように出てきていただくかが課題である。サロン活動は多くあるが、参加者は

固定化されていると思う。情報の提供方法を工夫すると、気軽に出てきていただけるのかなと思っている。

- 各地区で工夫して参加者を募る形がある一方、参加できない方が非常に多いのかと思った。地域活動は、その地域の方が年代を問わず参加してもらえればいいが、きっかけを作るには、ある程度は対象を絞って参加を促していかないと難しいのかと思う。まずは、参加者を多くしていくことが、世代間交流していくうえでは重要ではないかと思った。
- 福祉活動については、従来は高齢者対策がメインだったが、対象を広げて障がい者と子育てを課題の中に取り入れて活動をしている。具体的な活動として、サロン活動とか、子どもや高齢者の見守り活動をメインに行っており、行政関係との連携では募金活動と敬老事業の窓口をやっている。問題は、参加できる人が少ないことである。現状、コロナの影響で事業は中止となっているが、情報共有などに力を入れて取り組んでいる。
- 安全協会は、交通事故をなくそうというボランティア団体であり、役員の平均年齢が75歳という状況である。主に、小学校の登下校の見守りや講習会を中心に行っているが、担い手がいない状況である。以前、「オルソン問題」という話があったが、若者の中で自分だけは何もしないでいいだろうという気持ちが高まっている現状があるということで、これを解決しないといけないと思っている。
- 地域活動に参加しにくいという中に、ITで参加するみたいなことが入ってくると、参加できるきっかけになるのではないかと思った。相模原市とオープンデータを使って、事業を検討しており、リアルな書き込みを入れて有効に使うとともに、そこを見て、自分の思っていることも追加できるなど、ITで参加できる取組をしている。
- ◎大学でオンライン授業をやっている、オンラインのよさも改めて発見したところもあり、例えば、「場」が欲しいということが、従来型の場ではなく、ITを使って新しいコミュニティーをつくっていくというのも一つの方法だと思う。
- 地域活動の参加者についてだが、子どもが参加すると、一緒に保護者も参加することになると思うので、そういったことも念頭に組み込んでいきたいと考えている。
- 相模原青年会議所は、何かに特化した地域活動というのは行っていないのが特徴になっている。単年度で理事長が変更されるため、その理事長が掲げる理念の下、時流に沿って運動を展開している。その中でも毎年行っているのが、「地域の先生」という授業で、職業体験を開催している。また、単一の団体での事業展開は難しい場も多いので、例えば、社協と相模原市と三者協定を結び、防災の取組を行うなど、皆様方との協力というのがすごく重要であると思っている。何か事業行う場合は、相模原青年会議所を頭に入れていただければ、

一緒に展開できるのではないかなと思うのでお願いしたい。

◎青年会議所の方々の世代が、まさに世代間交流のフックになるところではないかなと思う。  
提案を待つというよりは、逆に積極的に提案していただけるといいかなと思っている。

○自治会はたくさんの事業を一生懸命やっているが、実はそれが逆に外部の人が入りにくくなっていると感じた。特に、今年はコロナの影響で身動きが取れないので、もっと広い視点で自治会と連携していく必要があると痛感している。所属している団体にも、若者との連携を検討しようと言うつもりである。勝手な想像であるが、若者に自分たちの困っていることを素直に伝えると、意外と広がるのではないかと思った。

○「まちづくりモデル事業」を行っているが、狙いは「活動」そのものと、「担い手の創生」である。メリットとしては、団体にもあるが、事務局にも大学の知恵などを活用して、どうしたら団体が育って軌道に乗っていくかというノウハウを得ることができる。また、事務局は、場所、物、人と主催者を徹底的に支援している。今回の事業を行うときは、やり方を変えろというのもあるが、ニーズに合わせて徹底的に支援すると、やる気にも繋がり、成功の秘訣かなと思う。

○各委員の取り組んでいる活動の対象者を聞いてみると、子ども、学生、子どものいる家庭、高齢者が多いが、今は独身の方や子どもがいない家庭も増えている。こういう方は、参加するきっかけが無いかなと思った。また、自治会側もその方々に参加してもらう方法を検討していかないと、自治会の加入率が低くなってしまわないかと思った。

また、来年度モデル事業の施行とする場合は、対象者を絞ることが大事だと思う。女性は、娯楽でお友達と誘い合わせて来られる傾向が高く、男性は、勉強的なものに興味がある傾向が高いと思われるので参考にしていきたい。

◎ターゲットに合わせた作戦を立てることは重要である。着地点が一つということはないので、地域の特性などを踏まえて、どのようにしたらいいのか検討いただければと思う。

#### 4 その他

- ・事務局から、12月19日の午後2時から開催予定の「若者リモート会議」について情報提供。南区合同庁舎4階第2会議室で行うため、傍聴することも可能である。
- ・事務局から、次回の会議日程について、令和3年1月下旬に開催する旨報告。

#### 5 閉会

井坂会長の挨拶のあと、閉会

# 相模原市南区区民会議委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	秋場 智子	公募委員		出席
2	井坂 聡	相模女子大学人間社会学部 教授	会長	出席
3	井部 弥生	相模原市民文化財団 総務課長		出席
4	大谷 かな穂	公募委員		出席
5	大木 恵	大野南地区まちづくり会議 会長		出席
6	角田 隆洋	麻溝畜産会 会長		欠席
7	金森 巖	相模原町田大学地域コンソーシアム業務部部长補佐 市民・大学交流センター所長		出席
8	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会 会長		出席
9	九嶋 俊彦	相模原青年会議所 常任理事		出席
10	小寺 美卯	南区若者参加プロジェクト実行委員会		欠席
11	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席
12	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議 副会長		出席
13	杉本 祥一	相模原商工会議所 常議員		出席
14	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会 会長		出席
15	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議 会長		出席
16	田中 美加	北里大学看護学部 教授		出席
17	中島 千尋	相模原市地区社会福祉協議会南区連絡会		出席
18	中島 勝平	麻溝地区まちづくり会議 会長		出席
19	長瀬 徹	ジェイコム湘南・神奈川 相模原・大和局局長		出席
20	廣岡 恵子	子育て親育ち応援団 With. cfc 会計監査		出席
21	古木 昇	東林地区まちづくり会議 会長		欠席
22	穂苅 健二	新磯地区まちづくり会議 会長		出席
23	三井 布美子	公募委員		欠席
24	森 逸雄	大野中地区まちづくり会議 会長	副会長	欠席
25	吉田 貴子	女子美術大学芸術学部 教授		出席